

試合番号 : 470	試合会場 : ひたちなか市総合運動公園総合体育館	観客数 : 396		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:29	試合時間 : 01:29		
主審 : 渡部 菜保子	副審 : 津嶋 由香			
JTマーヴェラス	通算 23勝 5敗 ポイント : 68	25 第1セット 21	埼玉上尾メディックス	通算 16勝 11敗 ポイント : 48
監督コメント 高さのあるミドルブロッカーに対して、攻撃、守備の両面で精度の高さが問われました。苦しいときにしっかりとブロックフォローをして、自分たちのボールで得点を重ねていくことができました。自チームのブロックとディグの精度は非常に高く、攻撃までつなぐことで相手にブッシャーを与えられました。今日は1試合のみとなりましたが、会場にお越しいただいた皆様、ありがとうございました。残り少ないリーグ戦を全力で戦っていきます。	3	25 第2セット 21	0	監督コメント 本日も応援ありがとうございます。相手オポジットの対策練習を突き詰めてきましたが、第1セットは対策しきれず、常に相手のペースでした。ドリュース選手のトータルのアタック決定率は高かったものの、第2、第3セットはかなり抑えられました。次の試合に向けて、もう一度練習に励みます。
		25 第3セット 17		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 第1セット、序盤からJTマーヴェラスはドリュースにトスを集め、スタートダッシュに成功する。対する埼玉上尾メディックスはロレンネ、内瀬戸のスパイクで食らいつく。JTは途中交代で出場した和田の活躍もあり、終始リードする。最後はJTが林の得点でセットを先取した。第2セット、JTが中盤にタツタオ、田中のブロックで勢いに乗り、点差を広げる。埼玉上尾は途中交代の山口が連続でスパイクを決め、一進一退の攻防が続いたが、攻守において安定したプレーを最後まで崩さなかったJTがセットを連取した。第3セット、JTは林、ドリュースを中心に攻撃を組み立て、じりじりと差を広げていく。埼玉上尾はロレンネ、内瀬戸に加えて、青柳や佐藤も果敢に攻めるが、なかなか追いつくことができない。そのまま逃げ切ったJTが勝利した。				

試合番号 : 472	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 716		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:16	試合時間 : 01:16		
主審 : 城 智人	副審 : 増岡 三佳子			
デンソーエアリービーズ	通算 17勝 11敗 ポイント : 47	16 第1セット 25	NECレッドロケッツ	通算 20勝 8敗 ポイント : 61
監督コメント 今シーズン最後のホームゲーム3連戦の初戦を勝利で飾ることができず、非常に悔しいと思います。試合の序盤で相手に先にリズムに乗られてしまい、後手に回る試合展開になってしまいました。気持ちを切り替えて、明日の試合に臨みたいと思います。リーグ終盤、1試合ずつエアリービーズらしい試合ができるように頑張ります。今日も熱いご声援を送っていただき、ありがとうございました。	0	22 第2セット 25	3	監督コメント 本日もたくさんの応援、ありがとうございます。第1セットを非常に良い形で取ることができましたが、続くセットではセットの入り方を特に意識して戦うことを常にやり続けました。デンソーも試合を通して修正してきましたが、私たちは引くことなく、攻め続けることができたので良かったです。3連戦となりますが、それでも勝ち切ることが私たちのさらなる成長につながるため、明日も良い準備をして挑みたいと思います。明日も応援、よろしくをお願いします。
		15 第3セット 25		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート V・レギュラーラウンド終盤、V・ファイナルステージに向けて負けられない6位のデンソーエアリービーズと、連敗を避けたい3位のNECレッドロケッツの一戦。第1セット、NECは曾我のライトからの3本のアタックや、島村のクイック、ブロックでの得点などで、スタートダッシュに成功する。点差をつけられ苦しい展開となったデンソーは、中元のサービスエースを含む5連続得点で追い上げるものの、最後はNEC古賀がアタックを決めセットを先取した。第2セット、序盤はサイドアウトを繰り返して1点を争うゲームとなる。デンソーはアコスタのバックアタックなどで4連続得点し抜け出すかと思われたが、NECもリベロ井上のナイスレシーブから古賀がバックアタックを決めるなど、主導権を渡さない。終盤も互いに好レシーブを繰り返して会場を沸かせるが、このセットもNECが僅差の勝負をものにした。第3セット、後が無くなったデンソーは、大きく後方に弾いたボールを中元が必死に追いかけるなど奮闘したが、NECは堅い守りから塚田のトスワークが冴え、アタッカー陣が得点を重ねていく。中盤、NECは山田がサービスエースを2本決めたり、島村がアタックを連続で決めたりと、流れを渡すことなくこのセットも奪取し、ストレートで勝利した。				

試合番号 : 473	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 685		
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:23	試合時間 : 01:23		
主審 : 佐々木 伸子	副審 : 北村 友香			
久光スプリングス	通算 18勝 8敗 ポイント : 56	25 第1セット 11	PFUブルーキャッツ	通算 11勝 15敗 ポイント : 34
監督コメント 我々の強みであるサーブを含めたトータルディフェンスが機能し、得点に繋がったことが大きな勝因となりました。途中出場した選手のバックアップもあり、コートの中を活性化させてくれました。負けられない戦いが続きますが、目の前の試合にフォーカスし、成長していくために全力で立ち向かっていきます。本日もたくさんのご声援、ありがとうございました。	3	25 第2セット 19	0	監督コメント 全てのプレーで精度が悪く得点に結びついていないので、自分がやるべきことを明確にし全うするしかないと思います。連敗で厳しい状態が続いていますが、チームとして、また個人としてもベストを尽くしていきたいです。本日も応援、ありがとうございます。
		25 第3セット 20		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート ファイナルへの進出を狙う4位久光スプリングスと8位PFUブルーキャッツの一戦。第1セット、久光がアキンラデウオ、栄のブロックを皮切りに先行する展開。リベロ戸江のブロックフォローを石井がアタックで決め切り、途中出場の深澤もVリーグ初得点となるアタック、ブロックを決め、更にチームに勢いを与える。そのまま攻撃の手を最終緩めなかった久光がセットを先取した。第2セット、久光は井上(愛)を中心に得点を重ねる。また、栄とアキンラデウオの息の合ったクイックも要所で決まり、セットを連取した。PFUはジャン、高相のアタックで追いつくが、大事な場面でのサーブミスが響き一歩及ばなかった。第3セット、PFUはバルデスの技ありのアタックで中盤まで食らいつたが、手堅い久光の守備陣がボールをつなぎ、井上(愛)、アキンラデウオが確実な得点を重ね、久光が18勝目をあげた。				

試合番号 : 474	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイニング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 763		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:28	試合時間 : 02:28		
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 佐藤 美里			
ヴィクトリーナ姫路	通算 5勝 22敗 ポイント : 17	25 第1セット 18	トヨタ車体クインシーズ	通算 8勝 25敗 ポイント : 25
監督コメント お互い負けられない重要な一戦に敗れてしまったことに対して、応援してくださった方々に申し訳なく思います。選手も勝ちたい一心で臨んでくれたと思いますが、劣勢の場面や緊張感漂う場面で冷静な判断ができなくなり、少しずつやるべきことに結びが生まれてくるのがこのチームの現状だと思います。まだ残り1戦が残る中で、高いレベルで安定したパフォーマンスを発揮できるチームになれるよう、皆で力を合わせて成長していきます。まず明日の試合に勝つことにフォーカスして、今から準備していきます。明日こそ皆さんの応援に勝利で応えることができるように頑張りますので、明日も応援よろしくお願いします。	1	22 第2セット 25	3	監督コメント 非常に重要な試合だと理解していたからこそ動きも硬かったですが、硬いなりに戦い抜いて勝利したことは若い選手にとっては財産になりました。カんでミスを生発していた開幕当初に比べ、追い込まれた時にこそ力を発揮できるように変化しています。プレーの内容はいつもよりシンプルになり、繋ぎのミスも多く出てしまったので反省し改善していきたいです。まだ拙いプレーも多いですが、チームも応援団も皆同じ気持ちで戦うクインシーズです。シーズン最後までよろしくお願いします。本日はありがとうございました。
		22 第3セット 25		
		24 第4セット 26		
		第5セット		
要約レポート 現在、11位のヴィクトリーナ姫路がホームに10位のトヨタ車体クインシーズを迎えた一戦が始まった。第1セット、姫路はブラクのスパイクで流れを掴んだ。トヨタ車体はケルシーのブロックや嶋原のスパイクで応戦するも、姫路は田中のブロック、古市のスパイクが決まり、最後はブラクの強烈なスパイクでセットを先取した。第2セット、トヨタ車体はケルシーのスパイクでじりじりと突き放す。姫路はブラクのサービスエース、田中のスパイクで追いつくが、トヨタ車体がハッタヤのブロックでセットを取り返した。第3セット、一進一退の状態が続く中、トヨタ車体はハッタヤのサービスエースで突き放す。姫路は長野のスパイクで流れを戻そうとするが、勢いの止まらないトヨタ車体がセットを連取した。第4セット、後がなくなった姫路は田中、古市のスパイクで得点を重ねるが、トヨタ車体はケルシーのバックアタックで徐々に得点を重ねる。姫路は佐々木のブロックで粘るも、トヨタ車体が勝利を掴んだ。				

試合番号 : 475		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 380	
開始時間 : 16:15		終了時間 : 17:32		試合時間 : 01:17		主審 : 國頭 亮太	
副審 : 沢田 元		東レアローズ		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 3勝 24敗	
通算 21勝 6敗 ポイント : 64		25 第1セット 20		通算 3勝 24敗 ポイント : 7			
監督コメント 序盤にサーブミスやディフェンス面で苦しい場面がありました。我慢しながらサイドアウトをしっかり取って得点を重ねられたと思います。また明日の試合に向けしっかりとコンディションを整え準備したいと思います。本日も沢山の応援をいただきありがとうございました。	3	25 第2セット 17		0	監督コメント スタートからサーブで崩し、ブロックとサーブレシーブでリズムを作りたいところでしたが、東レアローズの高さとパワーのあるオフェンスに最後まで対応できずに完敗となりました。特に第2セットはレセプションが乱れ単調な攻撃となり、苦しい展開となっていました。気持ちを切り替え、明日のゲームの準備をしたいと思います。今後ともご応援をよろしくお願いいたします。		
		25 第3セット 19					
		第4セット					
		第5セット					
要約レポート 第1セット、東レアローズ石川、中田のスパイクに対し、KUROBEアクアフェアリーズはラッツの活躍によって、序盤から一進一退の攻防が続いた。KUROBEは金杉、戸部にボールを集め対抗するが、東レはセッター関の巧みなトス回しでクランの高いスパイク、小川のクイックで主導権を握り、セットを先取した。第2セット、スタートからKUROBEはコラムのスパイクで対抗するが、東レは石川のバックアタック、関のサービスエース、クランの強烈なスパイクが決まる。粘るKUROBEのディフェンスに対して、井上、中田のスパイクでさらに勢いに乗った東レがセットを連取した。第3セット、後がないKUROBEはラッツのスパイク、ブロックでリードを奪う。さらに細沼、道下らのブロックで東レに対して互角の戦いを展開した。しかし中盤以降、東レは好レシーブからの関の安定したトスによって石川のスパイクが要所で決まり、勢いに乗った東レがストレートで勝利した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット		監督コメント			
		第3セット					
		第4セット					
		第5セット					
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット		監督コメント			
		第3セット					
		第4セット					
		第5セット					
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット		監督コメント			
		第3セット					
		第4セット					
		第5セット					
要約レポート							